

2024年度事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

1. 概要

2024 年 2 月 2 日開催の第46 回理事会で決議された 2024 年度(2024 年 4 月～2025 年 3 月)事業計画に基づき、バイオサイエンス分野の研究者に対する研究助成、国際交流助成及び学会等開催助成などの諸事業を予定どおり実施した。

2. 年間の経緯 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)

2024 年

4 月	15 日	会計・業務監査
5 月	15 日	第 47 回理事会(決議の省略による方法)文書発信。決議日 5 月 21 日
5 月	23 日	第 19 回評議員会招集
5 月	24 日	第 48 回理事会招集
6 月	7 日	第 19 回評議員会 ハイブリッド開催(於:如水会館) 第 48 回理事会 ハイブリッド開催(於:如水会館)
6 月	21 日	役員変更登記
6 月	24 日	2023 年度事業報告及び決算書類提出(内閣府、電子申請)
7 月	1 日	第 36 回国際交流助成(下期)募集開始(8 月 31 日締切) 第 36 回研究助成募集開始(9 月 30 日締切)
9 月	下旬	第 36 回国際交流助成(下期)選考
11 月	1 日	第 36 回学会等開催助成募集開始(11 月 30 日締切)
11 月	13 日	第 15 回研究助成報告交流会 ハイブリッド開催(於:大手町サンケイプラザ)
12 月	27 日	第 36 回研究助成選考委員会、第 36 回学会等開催助成選考会 ハイブリッド開催(於:如水会館)

2025 年

1 月	4 日	第 37 回国際交流助成(上期)募集開始(2 月 28 日締切)
2 月	7 日	第 49 回理事会 ハイブリッド開催(於:KKR ホテル東京)
2 月	13 日	第 20 回評議員会(決議の省略による方法)文書発信。決議日 2 月 19 日
3 月	7 日	第 36 回研究助成贈呈式 ハイブリッド開催(於:如水会館)
3 月	13 日	2025 年度事業計画書及び収支予算書提出(内閣府、電子申請)
3 月	下旬	第 37 回国際交流助成(上期)選考

3. 事業

(1) 助成事業

2024 年度助成事業のまとめ（2023 年度対比）

事業名	応募件数		助成件数		採択率(%)		予算(万円)		実績(万円)	
	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023
研究助成	178	184	31	31	17.4	16.8	6,200	6,200	6,100	6,100
メディカルサイエンス	120	119	19	19	15.8	16.0	3,900	3,800	3,800	※ 4,000
バイオテクノロジー	50	53	9	8	18	15.1	1,900	1,900	※ 1,900	1,600
環境バイオ	8	12	3	4	37.5	33.3	400	500	※400	※500
国際交流助成	95	89	35	39	38.9	43.8	900	980	※872	※940
上期	47	33	17	18	36.2	54.5	450	480	※460	※480
下期	48	56	18	21	41.7	37.5	450	500	※412	※460
学会等開催助成	45	42	19	17	42.2	40.4	400	400	430	400

注 1) バイオテクノロジー: 2024 年度※1,900 万円は増額 100 万円(優秀賞)1 名分を含む

メディカルサイエンス: 2023 年度※4,000 万円は増額 100 万円(優秀賞)2 名分を含む

注 2) 環境バイオ: 2024 年度※400 万円、2023 年度※500 万円は、各々増額 100 万円(優秀賞)1 名分を含む

注 3) 国際交流助成: ※内定時総額より変動(他研究資金との重複助成による減額又は辞退、余剰金返還等の結果)

1) 研究助成

3 つの募集区分に対して7月初めから 9 月末まで募集した結果、計 178 名の応募があった。前年度初めて二桁となった環境バイオ分野(奨励研究)の応募減は残念であった。また、女性研究者の応募は全体で 36 名(前年度 39 名)と引き続き好調であった。選考委員会答申に基づく理事会審議を経て、全 31 名に研究助成(うち、奨励研究 3 名)を行った。

また、助成金増額対象者(+100 万円/優秀賞)について審査した結果、バイオテクノロジー分野 1 名と環境バイオ分野 1 名が優秀賞に選考された。なお、全体の採択率は約 17.4%となった。

2) 国際交流助成

上期(募集期間 1-2 月)は 47 名の応募があり、17 名に対して計 450 万円の助成が内定した。内定通知の結果、1 名が辞退し補欠 1 名を繰り上げたが、両者の金額差により上期実績は 460 万円となった。

下期(同 7-8 月)は、48 名の応募があり、20 名に対して計 450 万円の助成が内定した。内定通知の結果、4 名が辞退し、補欠を 2 名のみ選考していたため残り 2 名が欠員となった。また余剰金の返還等もあり、下期は助成者 18 名、実績額は 412 万円に減額となった。辞退 4 名中 3 名の辞退理由は他財団との重複助成であった(いずれの財団も他の助成金受給を禁止している)。

その結果、助成額は上期 460 万円、下期 412 万円となり、年間予算 900 万円に対し実績 872 万円となった。なお、上・下期ともに正副選考委員長による選考会答申に基づいて理事長決裁されている。

3) 学会等開催助成

11 月の一ヶ月間募集したところ、前年度の 42 件に対して 45 件の応募があった。

正副選考委員長による選考会答申に基づく理事会審議を経て、予算 400 万円と国際交流助成の対予算残額の約 30 万円を充当した額に対し、30 万円 9 件、20 万円 6 件、10 万円 4 件の合計 19 件/430 万円の助成を行った。各助成額は選考時の成績順に割り振った。

(2) 第 15 回研究助成報告交流会

2024 年 11 月 13 日(水)に大手町サンケイプラザ(ハイブリッド形式)にて開催した。第 33 回(2021 年度)の助成者等による口頭発表が行われ、財団役員・選考委員・外部関係者等 46 名が参加し活発な質疑応答が行われた。報告会の後は交流会を開催し、助成者や参加者間の情報交換等を行った。

(3) 第 36 回研究助成贈呈式

本年度の研究助成贈呈式を 2025 年 3 月 7 日(金)に如水会館(ハイブリッド形式)にて開催した。選考委員長による選考経過報告の後、研究助成受領者一人ひとりに対し、理事長より助成金目録及び記念盾が贈呈された。その後、協和キリン株式会社・宮本昌志社長より来賓祝辞をいただいた。引き続き、過去の研究助成者 2 名による下記の特別講演が行われた。

- 1) 鳥取大学学術研究院工学系部門 准教授 稲葉 央
「動的バイオナノ構造体を制御するペプチドデザイン」

2) 京都大学大学院薬学研究科 准教授 長谷川 恵美
「睡眠のメカニズム」

参加者は、助成受領者は31名中29名(代理出席1名含む/全員現地参加)、全体ではオンライン参加者含めて56名であった。

式典終了後、会場を移してポスターセッション形式で助成受領者による研究計画発表会後、立食形式の祝賀会を行った。

(4) 年報の発行

2024年8月31日付けで2023年度年報(第25号)を250部作成し、関係者へ配布した。また財団ホームページから概略版を公開したほか、国会図書館にも納本した。

(5) パンフレット更新

今年度の財団紹介パンフレットを400部印刷し関係各所に配布した。また、ホームページでPDF版を公開した。

4. 理事会

定例理事会2回と臨時理事会1回を下記のとおり開催し、各理事会の議案は全て承認された。

(1) 第47回理事会(定例／決議の省略による方法)

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者 理事 三箇山俊文

決議日 2024年5月21日(火)

議事録作成者 理事 石田浩幸

同意書 理事9名全員、監事2名全員(異議ないことを証する書類)

審議事項 ①2023年度(2023年4月～2024年3月)事業報告及び収支決算報告
②評議員の選任
③理事の選任
④監事の選任
⑤第19回評議員会の開催内容

(2) 第 48 回理事会(臨時)

日程	2024 年 6 月 7 日(金)
場所	如水会館(※ハイブリッド形式)
出席者	理事 9 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 19 回評議員会審議結果 ② 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ③ 第 47 回理事会報告事項(再掲) 審議事項 ① 代表理事の選任 ② 業務執行理事の選任

(3) 第 49 回理事会(定例)

日程	2025 年 2 月 7 日(金)
場所	KKR ホテル東京(※ハイブリッド形式)
出席者	理事 9 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 36 回国際交流助成(下期)助成者 ② 2023 年度年報(第 25 号)発行 ③ 第 15 回研究助成報告交流会 ④ 基本財産の運用 ⑤ 2024 年度決算見込み ⑥ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ⑦ 事務局トピックス ⑧ 今後のスケジュール、その他 審議事項 ① 第 36 回研究助成受領者の選出 ② 第 36 回学会等開催助成対象団体の選出 ③ 2025～2028 年度選考委員の選出 ④ 基本財産として保有する株式の売却について ⑤ 第 20 回評議員会の開催について ⑥ 2025 年度事業計画案 ⑦ 2025 年度収支予算案 ⑧ 公印等取扱規程の制定について

5. 評議員会

定例評議員会 1 回と臨時評議員会 1 回を下記のとおり開催し、全議案は承認された。

(1) 第 19 回評議員会(定例)

日程	2024 年 6 月 7 日(金)
場所	如水会館(※ハイブリッド形式)
出席者	評議員 6 名、監事 2 名、理事長、常務理事、事務局長
主な議題	報告事項 ① 2024 年度事業計画及び収支予算 ② 第 44 回理事会報告事項 ③ 第 44 回理事会決議事項 ④ 第 45 回理事会決議事項 ⑤ 第 46 回理事会報告事項 ⑥ 第 46 回理事会決議事項 ⑦ 第 47 回理事会報告事項 ⑧ 第 47 回理事会決議事項 審議事項 ① 2023 年度(2023 年 4 月～2024 年 3 月)事業報告及び収支決算報告 ② 評議員の選任 ③ 理事の選任 ④ 監事の選任

(2) 第 20 回評議員会(臨時／決議の省略による方法)

評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者	理事 三箇山俊文
決議日	2025 年 2 月 19 日(水)
議事録作成者	理事 石田浩幸
同意書	評議員 8 名全員、監事 2 名全員(異議ないことを証する書類)
審議事項	①基本財産として保有する株式の売却について

6. 管理業務

(1) 寄附金受入

2024 年 4 月、協和キリン株式会社より 2024 年度運用財産(事業費及び管理費)として 7,200 万円の寄附を受領した。

(2) ホームページの改訂

各助成対象者について、歴代助成者名簿と共にホームページで公開した。

また財団年報ならびにパンフレットをホームページに掲載した。印刷版の年報には研究助成報告書の全文ならびに国際交流助成の学会参加報告書に掲載し、ホームページでは研究助成報告書は 400 字程度の概要のみの掲載とし、学会参加報告書は掲載していない。

財団理事・評議員・名誉理事 21 名から「若手研究者へのメッセージ」と題して、自身の経験や研究に対する思いなどを書いていただきホームページ上で公開している。

(3) 研究助成の広報

公募時に各種広報活動を行った。

1) 募集広告掲載

➤ 専門誌

「実験医学」2024 年※7 月号 羊土社 ※電子版:6/20 閲覧開始

➤ ホームページなど

「ポータルサイト掲載」(JST、助成財団センター)、「学会等 HP 掲載」(日本生物工学会、日本農芸化学会、※環境バイオテクノロジー学会、日本薬学会、日本神経学会、日本免疫学会、日本癌学会、日本分子生物学会) ※事務局から会員向けにメール周知もして頂いた。

2) 募集のダイレクトメール発信

300 を超す大学や公的研究機関の窓口に応信(7/5)した他、環境バイオ分野の有力研究室を率いる先生方 100 名強にも直接メール案内を行った(7/13)。

3) 当財団助成者・助成団体経由による PR 活動

①研究助成:直近 3 回の助成者 94 名にメール発信し、同僚研究員や知人への直接的な PR(口コミ等)を依頼した(8/8)。②学会等開催助成:直近 3 回の助成団体・代表者 42 名にメール配信し、主催学会等の会員・参加者(若手研究者)向けに PR を依頼した(8/8)。

4) イベント等に出向いての PR 活動

インターフェックス Week 東京(於:東京ビッグサイト)に参加し、出展していた大学・研究機関に当財団助成事業の PR を実施(6/27)。

(4) 債券等情報の収集と検討

基本財産の運用管理のため、証券会社 5 社から債券市場に関する情報を得た。今期は満期を迎える保有債券はなく、オプション付(期限前償還)債券の権利行使もなかった。なお、受贈有価証券(株式)の一部売却に向けた準備として、主幹事証券会社と情報交換を行い、売却方法等の検討を進めた。

7. 人の異動

(1) 選考委員 (敬称略)

菅波孝祥、武田憲彦、林香、日比正彦、政井英司 選考委員就任(2024 年 4 月 1 日付)

梅澤明弘、久場敬司、佐藤俊朗、永田裕二、柳田素子 選考委員退任(2024 年 3 月 31 日付)

(参考)

藤間祥子、豊島文子、中嶋正敏、藤尾圭志 選考委員就任(2025 年 4 月 1 日付)